

舟入川で
100人が
一斉清掃



一本松の堰では、昨年の五倍のごみ

ごみの多さに驚き

市民の皆さん真剣に考えて!

川干が始まった三月二日、不法投棄が絶えない舟入川で、流域住民百人が一斉清掃を行いました。場所は、後免西町から高知市境の小滝までの約三キロ。
午前八時から、長靴、軍手姿で、ごみ袋片手に缶やビン類、発泡スチロールなどを拾い集めました。中には、ホームトイレや鳥の死骸も。昨年よりごみは増え、用意したごみ袋は足らなくなる始末。特に篠原一本松近くの堰では「去年の五倍は多い」とあきれられるばかり。
何度清掃しても、これでは「私たちごと」です。環境美化に対する自覚を、市民一人一人が真剣に考えてみましょう。



▲捨てるのは簡単でも、掃くのは大変です



▲捨てられたごみは木切れ、果てはホームトイレまで

3月1日から

ルール違反のごみ

市内全域で取り残し開始

ごみの収集は現在、可燃物が週二回、不燃物は月一回(一部の地区は二回)行っていますが、分別の不徹底や指定ごみ袋以外の袋を出すなど、ルール違反は後を断ちません。また、指定日の前日に出し、犬や猫が荒らしごみがステーションに散乱するなど、近所の方の迷惑にもなっています。

別の不十分なものについて、十一月からまず大篠地区で取り残しを始まりました。そして順次、後免野田、長岡地区へと広げ、三月一日から市内全域に拡大し、違反ごみを出した方には、正しい方法に改めてもらうよう指導しています。

燃えるごみは、甘枝にある香南清掃組合焼却場で処理していますが、ごみの量の増加とともに費用も増大。生ごみは焼けにくく燃料

焼却場から

水分の多いごみは、燃えにくく経費も多くかかる。十分水切りをして出してほしい。

金属類の混入も多く、ときには犬の死骸も。特に鎖など長いものは機械にまきつき、故障の原因にもなっている。皆さんの負担で運営している施設です。もっと大切に利用してほしい。



香南七カ市町村からの
ごみは、一日六十七トン



ごみ袋の中には金属類の混入も多い。正しく分別を!

ごみは、指定のごみ袋に入れ

収集日の日の出から午前8時まで

それぞれのステーションへ

正しく分別して出しましょう